

グラツ とくる前に!



木造住宅の おトクな耐震改修方法 をお教えします

平成7年の阪神淡路大震災では、6千人以上の尊い命が失われました。

その多くの原因となった家屋の倒壊などの被害は、耐震基準が大きく改正された

昭和56年以前に建てられた建物に集中しています。

熊本県内では、4戸に1戸の住宅が、耐震基準を満たしていないと推定されています。

熊本県 住宅耐震化講演会

日時 平成28年2月28日(日)

13:00 開場 13:30~16:30

会場 じょうさいえん桜の馬場城彩苑・多目的交流施設(熊本市中央区二の丸1番1-1)

内容

○熊本県の地震災害リスク

講師 まつだ たいじ松田 泰治 氏

熊本大学大学院附属減災型社会システム実践研究教育センター長・教授

○木造住宅の低コストな耐震改修方法

講師 はない つとむ花井 勉 氏

建築士・工学博士
(株)えびす建築研究所(東京都)代表

参加費無料

先着140名様

熊本県での地震災害の危険性とは?

木造住宅の**低コストな耐震改修方法**があることを御存知ですか?

講師に分かりやすくお話しいただきます。

お問い合わせ・お申し込み先 熊本県庁建築課 建築物安全推進室

電話: 096-333-2535 FAX: 096-384-9820

メール: kenchiku-anzen@pref.kumamoto.lg.jp

お申し込みは①「耐震講演会希望」②お名前 ③市町村名 ④お電話番号をお知らせください。

申込期限: 2月24日(水) 残席があれば当日参加も受け付けますが、事前申し込みを優先します。

主催: 熊本県 共催: 熊本市、八代市、天草市、一般財団法人熊本県建築住宅センター
後援: 熊本県建築物安全・安心推進協議会

2月28日(日)住宅耐震化講演会 申込書 (FAX送信に御利用下さい。※任意の書式でも可。)

ファックス送信先番号：096-384-9820 (担当：坂本(-))

お名前	お住まいの市町村	電話番号 (代表の方のみで結構です。)
	_____市・町・村	
	_____市・町・村	
	_____市・町・村	

(申込用紙は、切り離し不要です。)

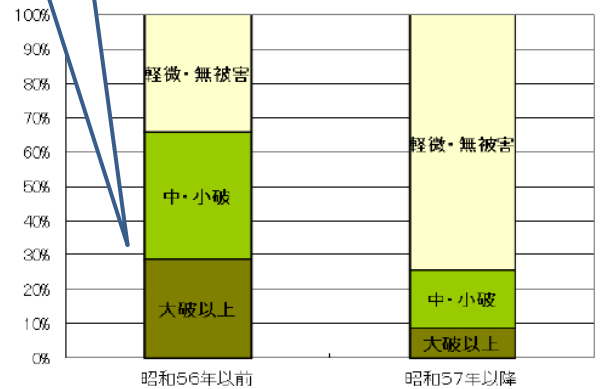
・阪神・淡路大震災における状況

	死者数
家屋、家具類等の倒壊による圧迫死と思われるもの	4,831 (88%)
焼死体 (火傷死体) 及びその疑いのあるもの	550 (10%)
その他	121 (2%)
合計	5,502 (100%)

※平成7年度版「警察白書」より(平成7年4月24日現在)警察庁調べ
 ※消防庁:阪神・淡路大震災について(確定報、平成18年5月19日)による
 死者数は6,434名、全壊住家数は約10万5千戸

旧基準の
建物に
被害が集中

(国土交通省ホームページより)
 建築年別の被害状況 (建築物)



(出典)平成7年阪神淡路大震災建築震災調査委員会中間報告

講師プロフィール

松田 泰治 (まつだ たいじ) 氏

熊本大学大学院教授。熊本大学大学院 自然科学研究科 附属減災型社会システム実践研究教育センター長 専門：都市防災、リスクマネジメント、地震工学
 著書：これからの防災を学ぶ人のための地域防災学入門 共著
 交通ネットワークを支える免震と制震の技術 共著

花井 勉 (はない つとむ) 氏

株式会社えびす建築研究所 代表取締役 博士(工学) 構造設計一級建築士 昭和57年名古屋工業大学建築学科卒業後(株)日本システム設計勤務 平成16年に社会人大学院生として名古屋大学環境学研究科博士課程を修了 平成19年建築構造分野・地震防災分野における設計コンサルティング会社(株)えびす建築研究所設立

こちらは
毎月2回開催しています。
お気軽にどうぞ!

一級建築士による無料相談窓口のご案内

(住宅一般・耐震・高齢化リフォーム無料相談)

日時：毎月第2、第4月曜日 13:00~16:00 (祝日の場合は翌日になります。)

場所：一般財団法人 熊本県建築住宅センター (熊本市中央区水前寺6丁目32-1)

要予約：電話 096-385-0771 (予約受け付けは土・日・祝日、年末年始除く9時~17時)

※講演会での相談ではありません。